

8-6 資格・CPD部会

1. 主な活動の記録

(1) 資格・CPD部会の開催

部会開催回数：11回

(2) 資格・CPD部会の組織

資格・CPD部会は、技術者の能力開発と適正な資格制度の確立を目指しており、RCCM資格制度委員会、CPD委員会の2委員会構成されている。RCCM資格制度委員会には自主学習システム専門委員会を設置し、CPD委員会にはCPD推進専門委員会とCPD監査専門委員会を設置して活動を行っている。

(3) 委員会の活動

a) RCCM資格制度委員会

試験検討WG、更新講習WG、技術者資格対応WGを中心に活動を行った。

なお、RCCM更新登録に必要なCPD単位数の150単位/4年から200単位/4年への移行は、令和7年度からとしている。

① 試験検討WG

RCCM有資格者に求められる「管理技術力」の資質を整理した上で、RCCM資格試験「問題3管理技術力」について業務遂行能力に関する出題を増やす必要があると判断し、RCCM試験問題作成委員会に要請した。

② 更新講習WG

会長講話1コンテンツ(会長交代による更新)と講師20名による講演21コンテンツ(うち14コンテンツ更新)を公開した。なお、講師は1名交代した。

③ 技術者資格対応WG

2施設分野11技術部門の登録更新申請を行うとともに、計画調査設計業務の「舗装」に対して、RCCM(道路)を新規登録申請したが、舗装に特化した試験でないとの理由で、登録されなかった。

④ 自主学習システム専門委員会

更新登録に使用する建設一般4教材と専門技術22教材の自主学習教材について、改

訂内容適否等の審査、チェックを行った。

b) CPD委員会

協会会員のCDP取得支援、CPD監査と監査結果の分析、CPD解説書の改訂などを中心に活動を行った。

① CPD取得支援

協会会員のCPD取得支援として、分野横断的なテーマである法律・契約に関するセミナーの主催・配信とともに、Web講習配信の充実を図った。

Web講習配信の開始以降、視聴者数は増加が続き、CDP取得機会の創出・拡大に寄与している。

② CPD監査と監査結果の分析

令和5年度の監査は、令和4年度のCPD記録登録者200名(記録数4,069件)を対象に実施した。

監査結果は削除相当が1.1%、修正相当が1.8%と記録の不備は僅かに残るが、システム等の改善に伴い指摘は低水準にあり、CPDシステムは適切に運用されている。

③ CPD解説書の改訂・CPD形態の追加

教育分野・分類の多様化やWeb講習への対応など監査活動を通じた利用者のCPD登録の適正化を図るためCPD解説書(2024年4月第10版)を改正した。

④ 関連学協会との連携によるCPD活動

技術士(CPD認定)制度の開始、技術士に求められる資質能力(コンピテンシー)への「継続研さん」の追加などに対応すべく、関連学協会と連携を図り、協会会員のCPD活用を支援していく。

2. 次年度の活動について

新たな中期行動計画の施策「適正な資格制度の充実」や「自立した技術者の育成支援」などの実現に向けて、今年度の活動を拡充充実し継続実施する。なお、各委員会及び専門委員会活動の詳細は、8-6-1~8-6-5に示す。

(資格・CPD部会部会長 高橋 努)